

愛知国際展・SDGsフェア

住商グループ共同出展

鋼管杭など環境性PR

住友商事グループは、10-12日の日程で愛知県常滑市の愛知国際展示場「アイチスカイエキスポ」で開催されているSDGs推進



住商グループの展示ブース①、住商メタルワ
ン鋼管も環境貢献をPR

フェア「SDGsアイチエキスポ2024」に、オフィシャルスポンサーとして事業部、関連会社、三重大学計23組織で共同出展している。金属関連では住商メタルワン鋼管が出展している。

住友商事では一昨年からブースを出展。今回は「ネイチャーポジティブ」をテーマに、各事業部や関連会社、海藻を活用した環境事業で連携する三重大学海藻バイオフィアナリー研究センターのSDGsに関連する取り組みなどを紹介し、環境をあるべき姿とし、生物多様性の向上を図るなどより積極的な取

り組みを、学生や一般来場者にアピールしている。

住商メタルワン鋼管では、鋼管販売を通じて環境保全への貢献を、パネル展示やプレゼンテーションで分かりやすくアピール。学生への積極的なPRで採用面でのプラス効果や、社内のSDGsへの意識を高めることにもつなげていくよう、採用に関わる担当者や名古屋支店の営業担当者も参加している。

具体的な取り組み事例として4事業を紹介。基礎工事に用いる鋼管杭はコンクリート杭よりも工事時の排出残土が少なく、地下水

への影響も軽微といった、土壌に優しい基礎工事。鋼管を用いたスリットダムは、水や生物を通しながら土石流や流木などの発生を抑える、生態系への影響抑制と防災を両立する堰堤となる。港湾ジャケット式栈橋は、軽量で耐久性に優れる鋼管を海洋構造物の基礎に活用することで、海洋生態系保護に貢献する。

今後、普及が期待される水素ステーション用のステンレス鋼では、高圧水素用ステンレス鋼材の販売を通じて、水素を安全に供給できるインフラ整備への貢献を目指す。